

JACET 第4次実態調査のためのアンケート調査協力願い

急速なグローバル化が進む社会情勢に伴い、初等・中等英語教育、大学入試は、大きく変わりつつあります。JACETは過去に3回、実態調査を行っておりますが、このたび第4次調査を行いたいと思います。お忙しいところ恐縮ですが、アンケートにご協力をお願いいたします。

【調査の目的】 大学英語教育をどのように改善していくべきかを検討するにあたり、現在、大学において、誰が、何を、どのように教えているのかについて、データを得ることを目的とします。そして調査で明らかになった大学英語教育の実態を、理想の英語教育、また、国の政策とを比較し、これからの大学英語教育について具体的な方向性を示したいと考えます。

【回答時間】 約15分～20分です。

【締め切り延長】 2017年10月15日(日)とさせていただきます。

【調査対象】 会員の皆様だけでなく、お知り合いの非会員の英語の先生にもぜひご協力を呼び掛けてください。

【回答方法】→アンケート回答はこちらから

(日本語)<https://goo.gl/forms/IbCUuAMf1uTGa8Df2>,

(英語)<https://goo.gl/forms/Bz8Ny1FEnFemOZjL2>

【データの利用範囲と個人情報取り扱い】 回収生データは本委員会内で統計的に処理するためだけに利用します。結果は報告書(書籍)として公表予定です。取得したデータは個人及び個人データが特定できないよう、本委員会が責任を持って管理します。

【問い合わせ先】 内藤永 naito@hgu.jp

大学英語教育学会第4次実態調査特別委員会

担当理事 尾関直子

委員長 内藤 永

メンバー(アイウエオ順): 荒木瑞夫、岩井千秋、上田倫史、大須賀直子、大矢政徳、金子淳、河野円、照井雅子、富田かおる、吉田諭史